



Think Automation and beyond...

1A1M形用アプリケーションソフトウェア： スタートアップマニュアル

Version 1.2

IDEC ALPS Technologies株式会社



1. ソフトウェアをインストール
2. 1A1Mセンサを接続
3. 検出距離・出力条件を設定

手順1 プリセット選択

手順2 検出範囲

手順3 出力設定

- ・OUT1/OUT2出力
- ・アナログ出力（1A1M-1A形のみ）

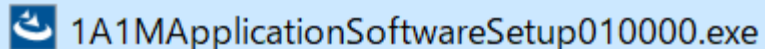
4. センサへ書き込み
5. センシング開始（状態モニタ）

APPENDIX: FAQ

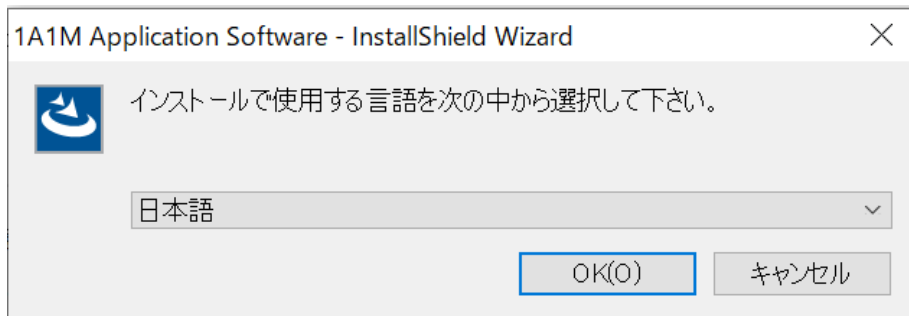
1. ソフトウェアのインストール

IDEC/IATホームページよりソフトウェアのDLいただけます。

ダウンロードフォルダー内で、ダブルクリックしてセットアッププログラムを実行してください。



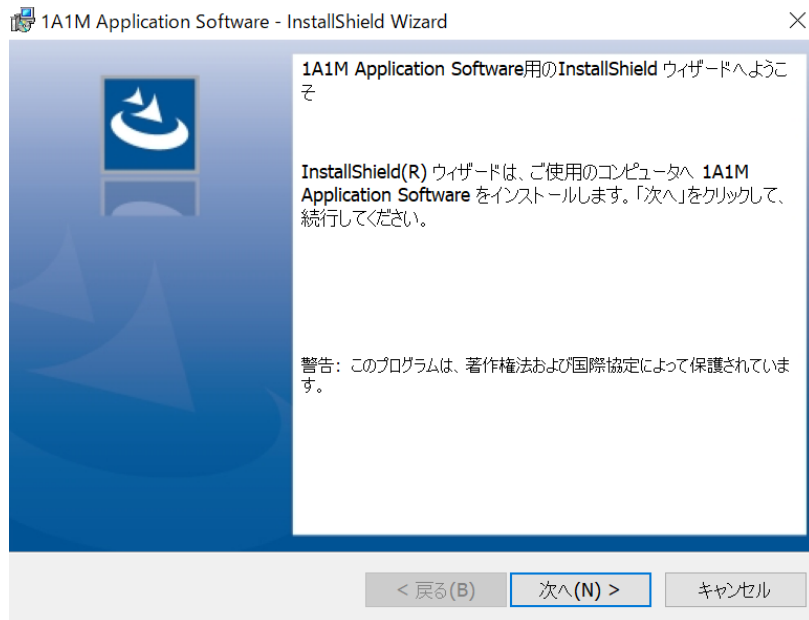
ポップアップウィンドウで希望の言語を選択し、「OK」をクリックしてください。



1. ソフトウェアのインストール

InstallShield ウィザードを最後まで実行してください。

インストールを完了するには、システムを再起動してください。



2. 1A1Mセンサを接続（ソフトウェアの起動）

最初はセンサに電源を入れて下さい。 PC の Bluetooth もオンにしてください。

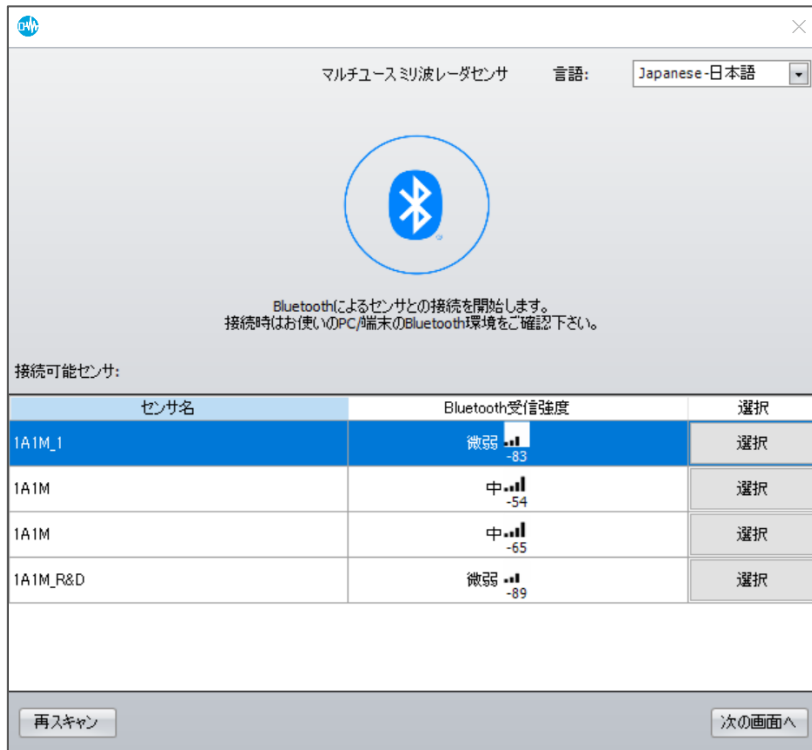
[スタート] ボタン (Windows マーク) を左クリックし、「IDEC ALPS Technologies」のフォルダまで下にスクロールします。

「1A1M用アプリケーション ソフトウェア」をクリックしてプログラムを起動します。



2. 1A1Mセンサとの接続

1A1Mアプリケーションソフトウェアを起動すると以下のセンサ選択画面が表示されます。



- ・接続可能なミリ波センサが画面で表示されます。
(センサ側はあらかじめ電源を入れておいて下さい)

- ・複数のセンサが電源入っている場合、左図の一覧で全て表示されますので、Bluetooth接続したいセンサを『選択』して、その後『次の画面へ』をクリックしてください。

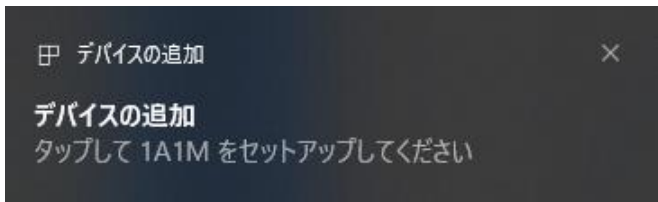
Bluetooth接続したいセンサを選択してください

選択したセンサはボタンが『選択』→『選択中』に変更となります。

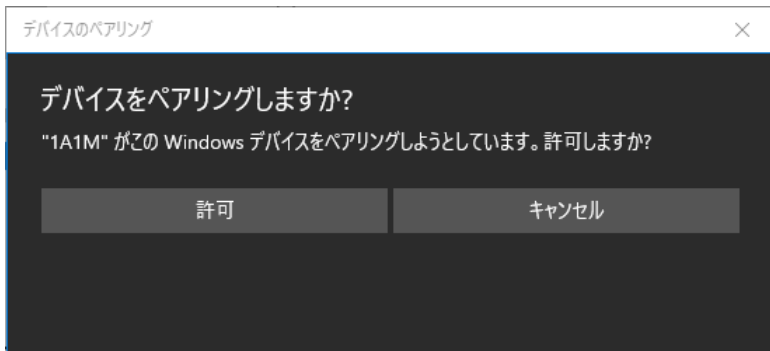
接続するセンサの選択完了後、『次の画面へ』をクリックしてください。
メイン画面が起動します。しばらくお待ちください。

2. 1A1Mセンサとの接続

PCの画面で以下のポップアップが表示されたら、
[デバイスの追加]を実施してください。

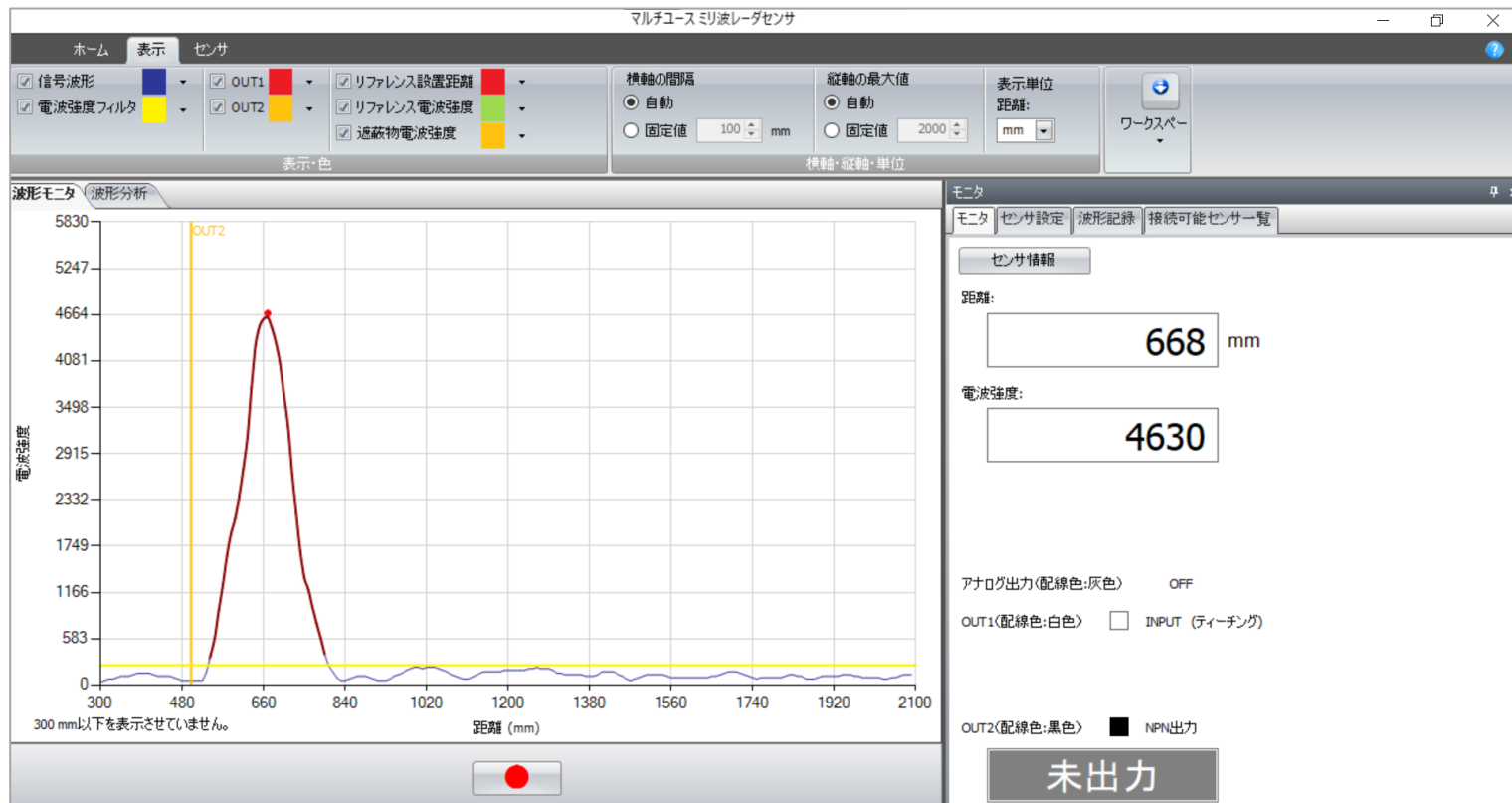


[デバイスのペアリング]ダイアログで、[許可]ボタンをクリックし、
センサとペアリングを行います。



※次回接続時より省略

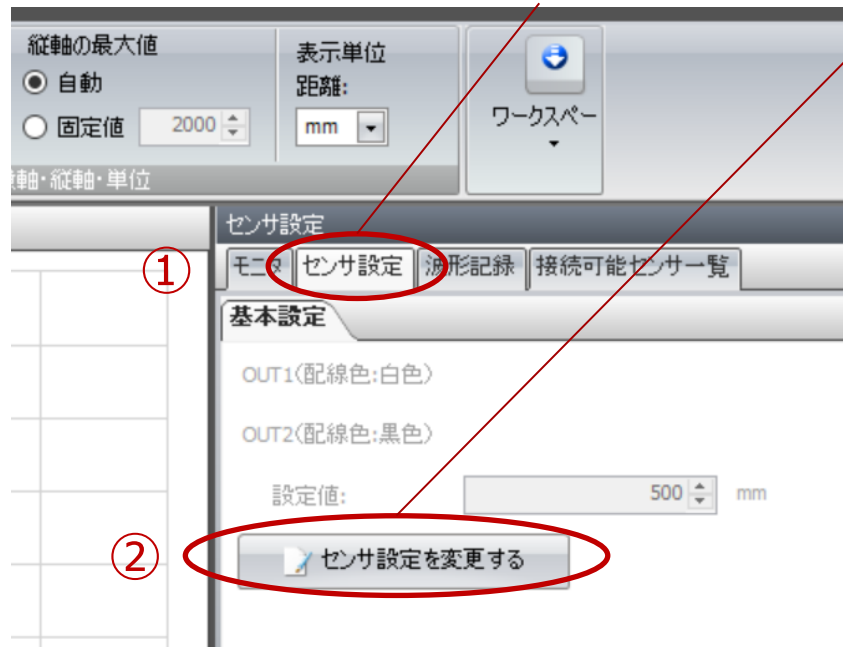
メイン画面は以下のイメージです。



3. 検出距離・出力条件を設定

○センシング条件の変更に関して

センサ設定を変更するには、「センサ設定」タブを選択し、「センサ設定を変更する」をクリックしてください。



センサ設定の追加タブが表示されます。



3. 検出距離・出力条件を設定 — 手順1 : プリセット選択

設定に必要なパラメータは、あらかじめ以下の5つの組合わせをプリセットとして用意しています。
 利用する条件に応じて、適切なモードを選択してください。

名称	最大距離 (mm)	最大検知範囲 (mm)	分解能	測定精度	応答速度
標準検出モード	6000	5500	中	中	中
高分解能検出モード (近距離)	3000	1500	高	高	中
高分解能検出モード (遠距離)	12,500	1500	高	高	中
高速検出モード	3000	3000	中	中	速
広域検出モード	12,500	12,500	低	中	中
移動体検出モード	12,000	12,000	低	低	速

「最大距離」と「最大検出範囲」の違い： センサから「最大距離」まで「最大検出範囲」を設定することが可能です。
 例（高分解能検出モード（近距離））：



安定検出のため、センサ検出面から 300mm以上 離すことをお勧めします。

3. 検出距離・出力条件を設定 — 手順2：検出範囲

センサ設定

ホーム センサ設定 波形記録 接続可能センサー一覧

プリセット 基本設定 詳細設定 電波強度

標準検出モード

高分解能検出モード(近距離)

高分解能検出モード(遠距離)

高速検出モード

広範囲検出モード

移動体検出モード

設定可能な検出範囲:0~6000mmのうち、最大3500mmの範囲まで

検出範囲: 300 ~ 3,000 mm

ピーク検索範囲: 350 ~ 3,000 mm

設定範囲 300~3000 mm

レーザパルス長:3

検出分解能:2mm

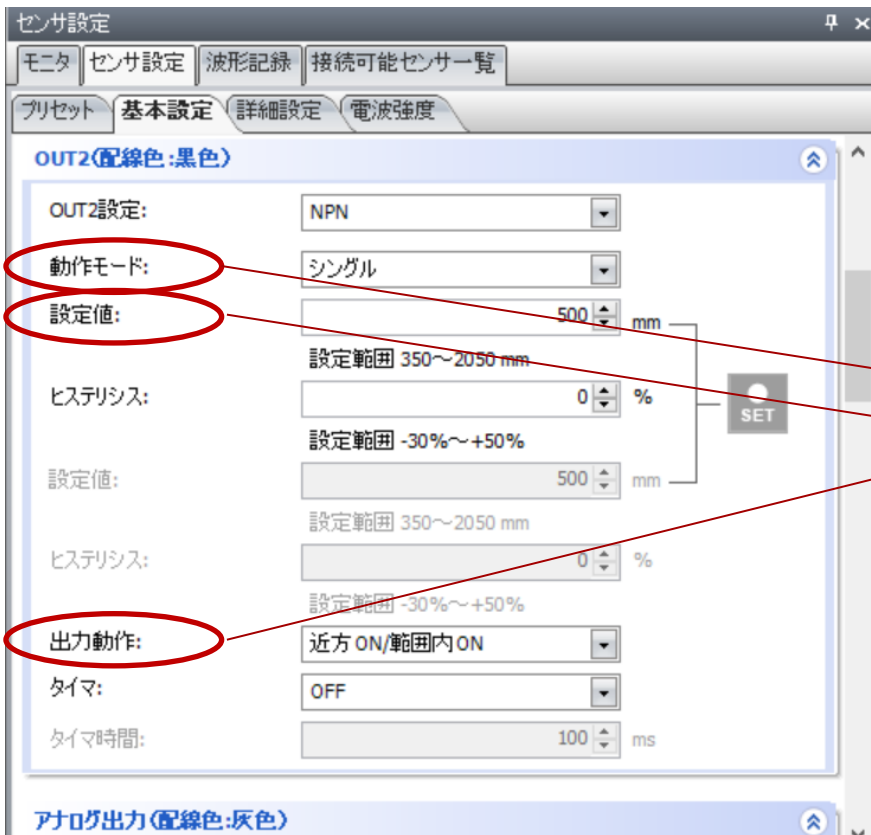
応答時間(目安):100 ms

「プリセット」のタブで
検出範囲の設定します。

検出最大距離まで、
最大検出範囲を設定します。

安定検出のため、センサ検出面から 300mm
以上 離すことをお勧めします。

3. 検出距離・出力条件を設定 — 手順3：出力設定



OUT1/OUT2出力：

シングル検出モードではOUT1かOUT2
どちらかに検出結果を出力します。

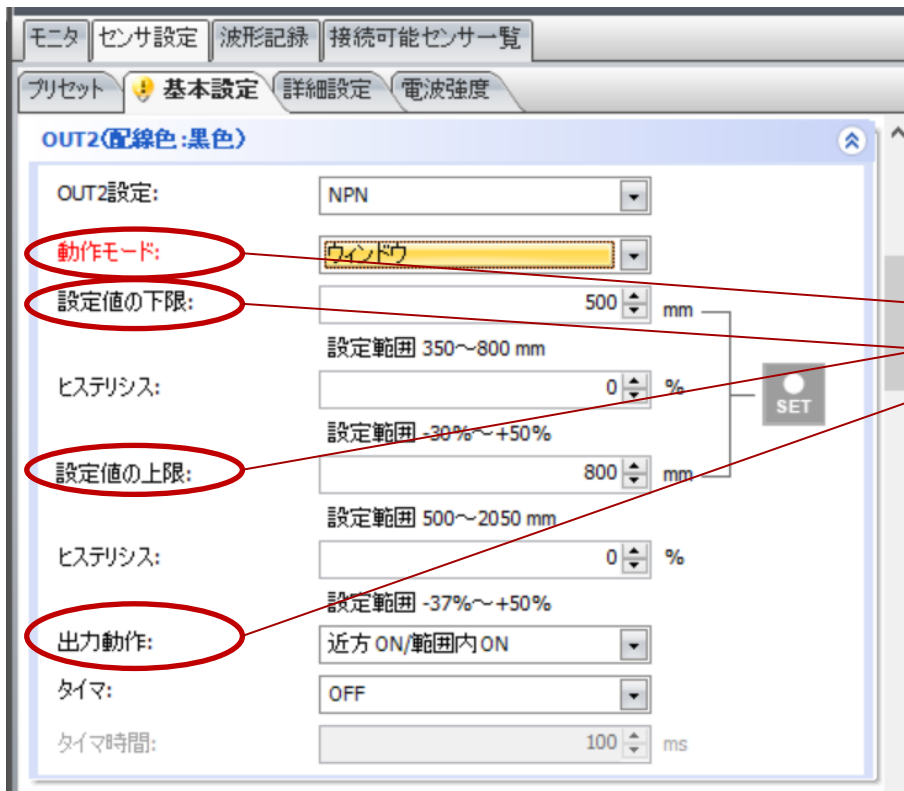
「基本設定」のタブでは、

- OUTを選んで、NPN・PNPを選択、
- 動作モード「シングル」を選択、
- 設定値にOUTの検出閾値を指定、
- 出力動作で「近方ON/範囲内ON」、
又は「近方OFF/範囲内OFF」を選択。

OUT1とOUT2に個別の検出閾値と
出力動作を設定可能です。

他にヒステリシス、タイマも設定可能です。

3. 検出距離・出力条件を設定 — 手順3：出力設定



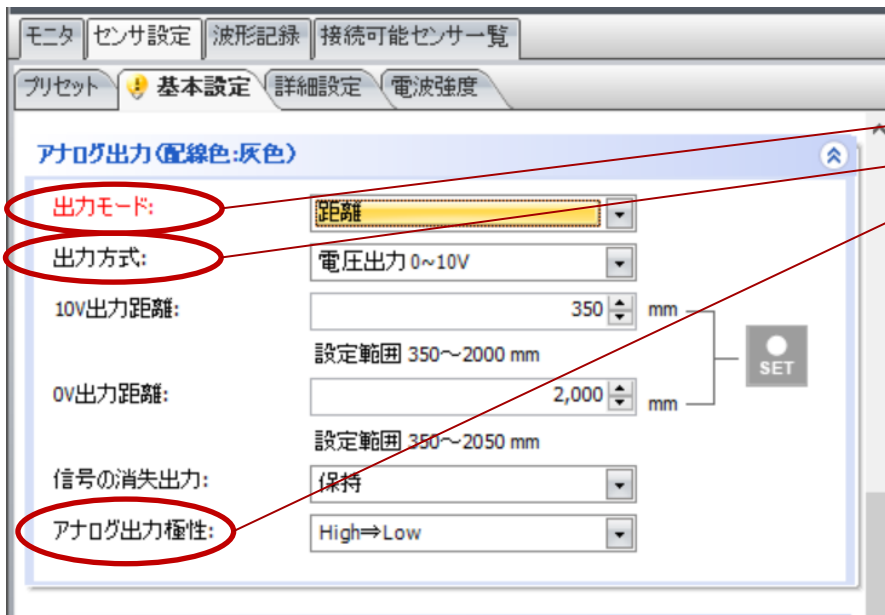
ウィンドウ検出モードはOUT1かOUT2
どちらかに検出結果を出力します。

「基本設定」のタブでは、

- OUTを選んで、NPN・PNPを選択、
- 動作モード「ウィンドウ」を選択、
- 設定値の下限と上限の検出閾値を指定、
- 出力動作で「近方ON/範囲内ON」、
又は「近方OFF/範囲内OFF」を選択。

OUT1とOUT2に個別の検出閾値と
出力動作を設定可能です。
ヒステリシス、タイマも設定可能です。

3. 検出距離・出力条件を設定 — 手順3：出力設定



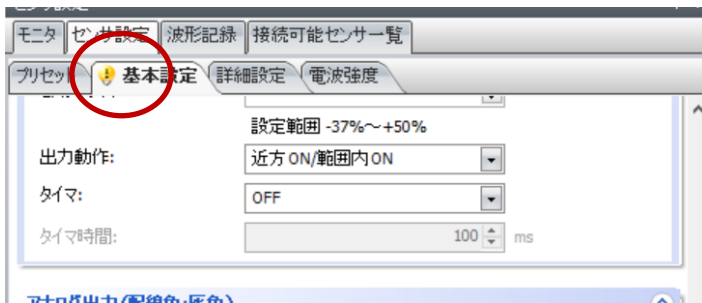
アナログ出力 (1A1M-1A形のみ)

「基本設定」のタブのアナログ出力では、

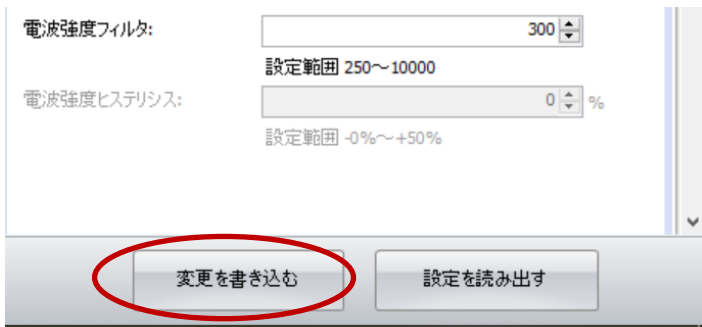
- 出力モードで「距離」を選択、
- 出力方式で電圧、又は電流を選択、
- アナログ出力極性を選択。

平均化は「詳細設定」のタブで設定可能です。

4. センサへ書き込み



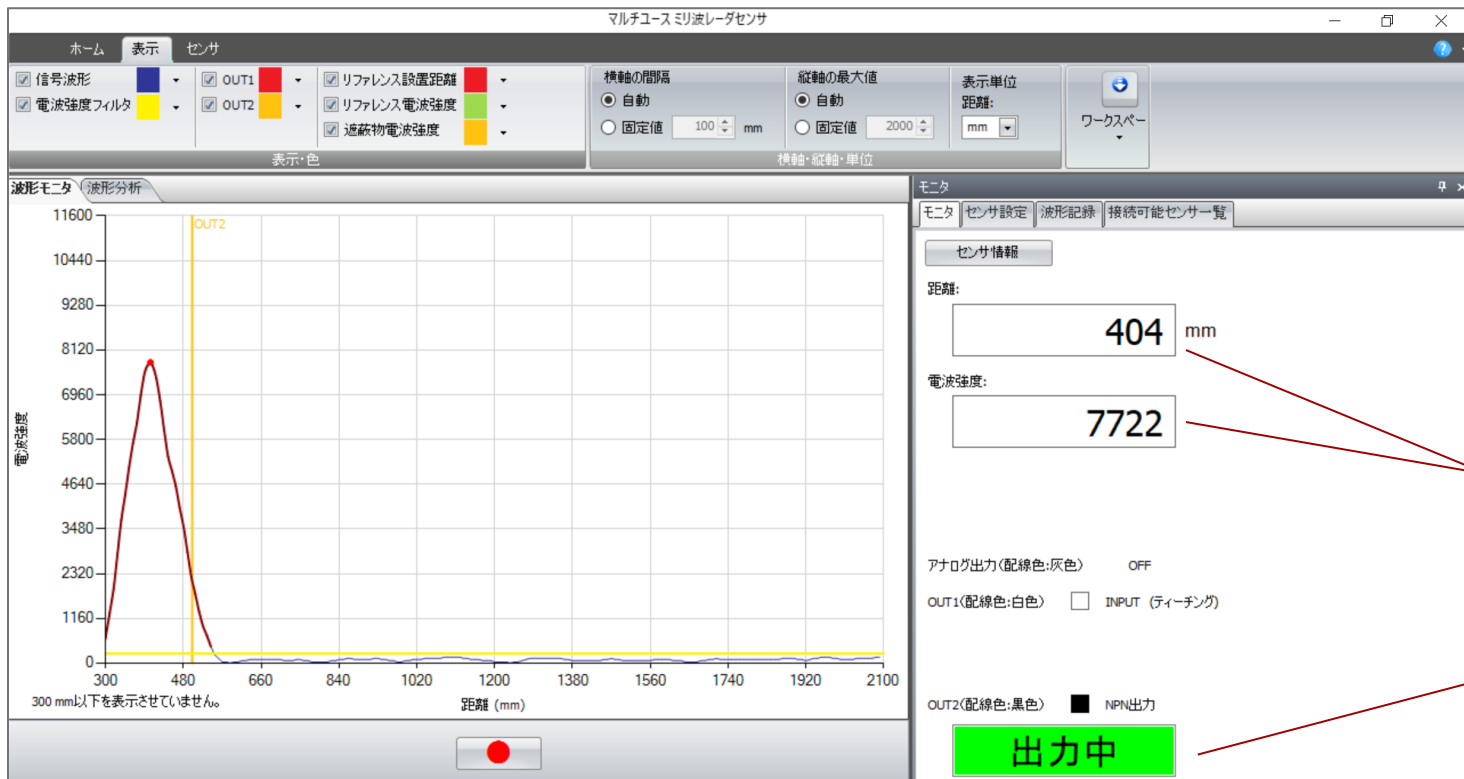
ソフトウェアでセンサの設定を変更すると、黄色いマークが表示されます。



変更した設定内容はセンサに記録するために、『変更を書き込む』をクリック願います。

5. センシング開始（状態モニタ）

「モニタ」タブではグラフに表示される数値や出力状態を確認できます。（例：OUT2でシングル検出モード）



センサがターゲットを検出した距離と電波強度が表示されます。

出力状態

FAQ

LED のさまざまな色の意味は何ですか？

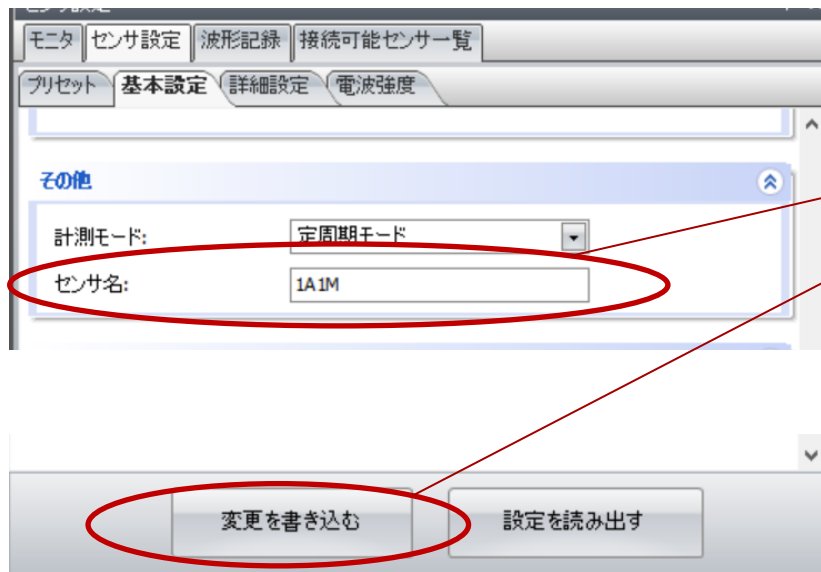
表示灯	色	方法	動作状態	優先度
動作表示灯	緑	点灯	OUT1 (配線色 : 黒色) NPN/PNP 安定出力時	3
	緑	点滅(速)	OUT1 NPN/PNP 出力不安定検出時 (ヒステリシス範囲内)	3
	青	点灯	OUT2 (配線色 : 灰色) NPN/PNP 安定出力時	3
	青	点滅(速)	OUT2 NPN/PNP 出力不安定検出時 (ヒステリシス範囲内)	3
	黄	点灯	アナログ出力時	4
	赤	点滅(速)、点灯	エラー検知時	1
	マゼンダ	点滅(速) (1 秒間)	ボタン操作での Bluetooth ペアリング開始時	2
	マゼンダ	点灯 (3 秒間)	Bluetooth での接続時	2
	緑	点滅(遅)	ティーチング中 (OUT1 選択時)	3
	青	点滅(遅)	ティーチング中 (OUT2 選択時)	3
	黄	点滅(遅)	ティーチング中 (アナログ選択時)	4
	白	点灯(速) (2 秒間)	スイッチロック設定 ロック⇒解除時	2
	白	点滅(速) (1 秒間)	スイッチロック設定 解除⇒ロック変更時 ロック中のボタン操作時	2
設定表示灯	黄緑	点灯	電源投入後	2
	橙	点滅	1 回の計測が完了時	1

詳細については、取扱説明書の 25 ページを参照してください。

どこでセンサに名前を割り当てることができますか？

○センサ名に関して

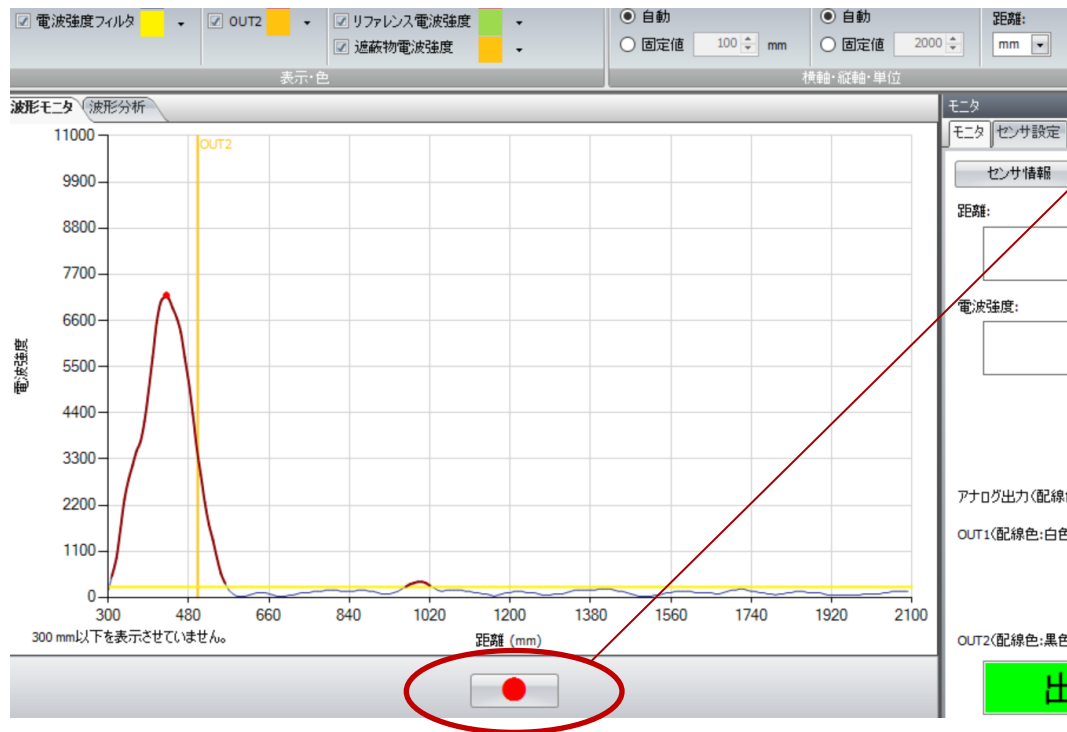
複数のセンサを同時利用する場合の便利な機能です。



「基本設定」タブで「その他」まで下にスクロールしてください。

入力エリアにセンサ名を記入し、最後に「変更を書き込む」をクリックしてください。

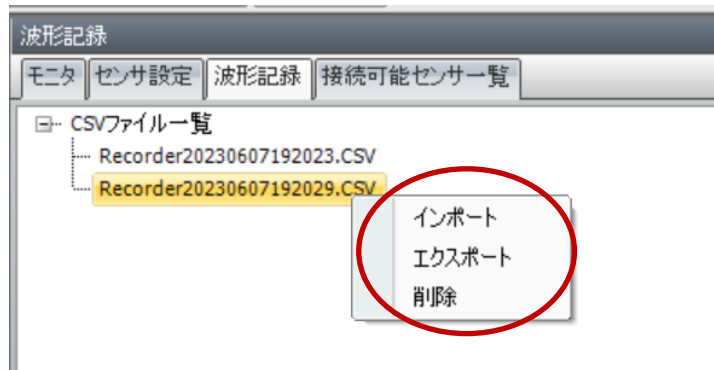
データ (ログ ファイル) を記録および確認するにはどうすればよいですか？



データのロギングを開始するには、
赤い記録ボタンをクリックして下さい。

ボタンが黒い長方形になります。録画を停止
するには、このボタンをクリックして下さい。





記録が停止されるとすぐに、CSV ファイルが
波形記録タブに表示されます。

後で参照できるように保存するには、任意のフォルダーに
エクスポートしてください。(CSV ファイル名を右クリックすると、
「名前を付けて保存」ポップアップ ウィンドウが表示されます。)

「削除」を選択するとファイルが削除されます。
データを残しておきたい場合は、アプリケーションSWを終了
する前にファイルをエクスポートしてください。

他のPCで取得したログファイルも見ることができます。
ログ ファイルを PC に保存し、「インポート」を選択して、
ポップアップ ウィンドウで保存されたファイルを選択して
ください。

モニタ センサ設定 波形記録 接続可能センサー一覧

プリセット ⚠️ 基本設定 詳細設定 電波強度

その他

計測モード: 定周期モード

センサ名: 1A1M

セキュリティ

設定変更認証:

パスワード: *****

パスワードの確認: *****

モニタリング認証:

パスワード:

パスワードの確認:

セキュリティ情報は*.mrsf設定ファイルには保存されません。

変更を書き込む 設定を読み出す

センサ設定の変更内容と
モニタリング認証を
パスワードでロックできます。

「基本設定」タブの最下部に「セキュリティ」が
あります。

入力エリアにパスワードを記入し、
「変更を書き込む」をクリックしてください。

パスワードは *.mrs ファイルには保存されません。
センサの設定を別のセンサにコピーする場合は、
コピー先のセンサにパスワードを別途設定して
ください。

→ コピーできます。

設定情報はファイルで保存して、他のセンサに利用することができます。

保存



利用

